

# 京都大学人文科学研究所共同研究実績・活動報告書

(5 計画の 3 年目)

## 1. 研究課題

東方文化研究所旧蔵漢籍の整理と研究

A Bibliographic Research Project on Old Chinese Books Housed in the Reserch Institute for Oriental Culture

## 2. 研究代表者氏名

矢木 毅

YAGI, Takeshi

## 3. 研究期間

2021 年 4 月-2026 年 3 月(3 年目)

## 4. 研究目的

旧東方文化学院の解散にともない、同学院の京都研究所は 1938 年 4 月に東方文化研究所として独立した。今日の人文科学研究所東方学研究部（東アジア人文情報学研究センター）の前身である。旧蔵の漢籍はすべて東方学研究部に継承されており、特に『東方文化学院京都研究所漢籍目録』（1938 年）より以降の収書内容は、『東方文化研究所續増漢籍目録』（1941 年）によって詳細に知ることができる。

本研究班はこの『續増漢籍目録』に掲載された漢籍の書誌情報を再吟味し、これに詳細な典拠情報を加えることによって、現行の電子目録（KANSEKI）の情報精度をさらに向上させることを目的とする。具体的には、序跋等のテキスト・データを含めた「典拠情報」を作成して逐次インターネットにより発信し、蔵書印については図録を作成して刊行する。来るべき 100 周年の節目に向けて、近代東アジアにおける学知の原風景を探り、漢籍をめぐる学術史の再構築を進めるべく、各種の展示会、企画展なども開催したい。

In April 1938, after the dissolution of the Academy of Oriental Studies, the old Kyoto Institute affiliated with the Academy became independent and was renamed the "Institute of Oriental Studies," which has since evolved into the "Department of Oriental Studies of the Institute for Humanities Research, Kyoto University.

The present institute has inherited all the ancient Chinese books previously housed in the old institute, and details of these historical collections can be found in the Catalogue of Old Chinese Books Housed at the Kyoto Institute of Oriental Studies Academy, published in 1938, and the Additional Catalogue of Old Chinese Books Housed at the Institute of Oriental

Studies, published in 1941.

Our research project re-examines the information in these catalogs and attempts to improve the accuracy of the KANSEKI database - an online catalog based on the earlier catalogs. The project includes the creation of an additional database that includes the prefaces and postscripts of the books. It will also include the collection of information on ex-libris ownership stamps and their publication in illustrated books.

In the near future, as part of the 100th anniversary of the Institute, exhibitions will be held with the aim of reviewing and restructuring Oriental studies in Japan.

## 5. 本年度の研究実施状況

『東方文化研究所続増漢籍目録』所収の漢籍について逐冊調査を行い、序跋、蔵書印などの知見を「典拠情報」にまとめて集積した。将来的には全国漢籍データベースにリンクさせた形でインターネット上に公開する予定である。

## 6. 本年度の研究実施内容

2023-04-12	東方文化研究所続増漢籍目録	経部礼類	発表者	宮宅潔
2023-04-19	東方文化研究所続増漢籍目録	経部礼類	発表者	宮宅潔
2023-05-10	東方文化研究所続増漢籍目録	経部礼類	発表者	矢木毅
2023-05-17	東方文化研究所続増漢籍目録	経部礼類	発表者	楊維公
2023-05-24	東方文化研究所続増漢籍目録	経部礼類	発表者	楊維公
2023-05-31	東方文化研究所続増漢籍目録	経部礼類	発表者	楊維公
2023-06-07	東方文化研究所続増漢籍目録	経部春秋類	発表者	高井たかね
2023-06-14	東方文化研究所続増漢籍目録	経部春秋類	発表者	高井たかね
2023-06-21	東方文化研究所続増漢籍目録	経部春秋類	発表者	高井たかね
2023-06-28	東方文化研究所続増漢籍目録	経部春秋類	発表者	永田知之
2023-07-05	東方文化研究所続増漢籍目録	経部春秋類	発表者	永田知之
2023-07-12	東方文化研究所続増漢籍目録	経部春秋類	発表者	藤井律之
2023-07-19	東方文化研究所続増漢籍目録	経部春秋類	発表者	藤井律之
2023-07-26	東方文化研究所続増漢籍目録	経部四書類	発表者	古松崇志
2023-10-04	東方文化研究所続増漢籍目録	経部四書類	発表者	古松崇志
2023-10-11	東方文化研究所続増漢籍目録	経部四書類	発表者	古松崇志
2023-10-18	東方文化研究所続増漢籍目録	経部四書類	発表者	宮宅潔
2023-10-25	東方文化研究所続増漢籍目録	経部四書類	発表者	矢木毅
2023-11-01	東方文化研究所続増漢籍目録	経部四書類	発表者	宮宅潔
2023-11-15	東方文化研究所続増漢籍目録	経部四書類	発表者	矢木毅
2023-11-22	東方文化研究所続増漢籍目録	経部四書類	発表者	矢木毅

2023-11-29 東方文化研究所続増漢籍目録 経部四書類 発表者 矢木毅  
2023-12-06 東方文化研究所続増漢籍目録 経部四書類 発表者 楊維公  
2023-12-13 東方文化研究所続増漢籍目録 経部四書類 発表者 楊維公  
2023-12-20 東方文化研究所続増漢籍目録 経部四書類 発表者 楊維公  
2023-12-27 東方文化研究所続増漢籍目録 経部孝経類 発表者 高井たかね  
2024-01-10 東方文化研究所続増漢籍目録 経部孝経類 発表者 高井たかね  
2024-01-17 東方文化研究所続増漢籍目録 経部孝経類 発表者 高井たかね  
2024-01-24 東方文化研究所続増漢籍目録 経部孝経類 発表者 永田知之  
2024-01-31 東方文化研究所続増漢籍目録 経部孝経類 発表者 永田知之

#### 7. 共同研究会に関連した公表実績

東アジア人文情報学研究センターより『京大人文研蔵書印譜(五)』を刊行し、また研文出版より『続・漢籍の遙かな旅路』を刊行した。後者は本研究班所属の3名による共著である。

#### 8. 研究班員

所内

矢木毅、高井たかね、永田知之、藤井律之、古松崇志、宮宅潔、楊維公、瞿艷丹、荘帆

学内

道坂昭廣(人間・環境学研究科)

9. 共同利用・共同研究の参加状況

区分	機関数 (必須)	受入人数					延べ人数				
		総計	海外研究者	若手研究者 (40歳未満)	若手研究者 (35歳以下)	大学院生	総計	海外研究者	若手研究者 (40歳未満)	若手研究者 (35歳以下)	大学院生
			(内女性)	(0)	(1)	(1)		(0)	(0)	(0)	(0)
人文研所属 (内女性)	1 (2)	9 (0)	0 (0)	3 (1)	3 (1)	0 (0)	212 (60)	0 (0)	60 (60)	60 (60)	0 (0)
京大内 (人文研を除く) (内女性)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
国立大学 (内女性)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
公立大学 (内女性)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
私立大学 (内女性)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大学共同利用機関法人 (内女性)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
独立行政法人等公的研究機関 (内女性)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
民間機関 (内女性)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
外国機関 (内女性)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他 ※ (内女性)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	1 (2)	9 (0)	0 (0)	3 (1)	3 (1)	0 (0)	212 (60)	0 (0)	60 (60)	60 (60)	0 (0)

※「その他」の区分受入がある場合  
 具体的な所属等名称を記載：例) 高校教員  
 無所属の場合は機関数0とカウントし、この欄の記載不要

10. 本年度 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数

	共同利用・共同研究による成果として発表された論文数			
			うち国際学術誌掲載論文数	
①人文研に所属する者のみの論文(単著・共著)	0		0	
②人文研に所属する者と人文研以外の国内の機関に所属する者の論文(共著)	0	(0)	0	(0)
③人文研以外の国内の機関に所属する者のみの論文(単著・共著)	0		0	
④人文研を含む国内の機関に所属する者と国外の機関に所属する者の論文(共著)	0	(0)	0	(0)
⑤国外の機関に所属する者のみの論文(単著・共著)	0		0	

11. 本年度共同利用・共同研究による成果として発行した研究書  
なし

12. 博士学位を取得した学生の数  
なし

13. 費目の 30%を超える大幅な変更があった場合の変更理由  
なし

14. 次年度の研究実施計画

引き続き、『東方文化研究所続増漢籍目録』所収の漢籍について逐冊調査を行い、序跋、蔵書印などの知見を「典拠情報」にまとめて集積する。

15. 研究成果公表計画および今後の展開等

典拠情報については準備の整ったものから順次インターネット上に公開する。また人文情報学創新センターより『活字印本十選』を刊行する。